

高等学校 令和7年度（2学年用） 教科 国語 科目 文学国語

教 科： 国語 科 目： 文学国語 単位数： 4 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 8 組

教科担当者： （1， 2， 4 組：土屋）（3， 7， 8 組：西部）（5， 6 組：遠藤）

使用教科書：（文学国語 大修館書店）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 文学国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
言語を通して人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする。	文学を通して深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高める。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
1 学 期	A 旅する本 【知識及び技能】 本文の構造や語彙について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・登場人物の描写を的確にとらえる。 ・語り手の役割を意識する。 【学びに向かう力、人間性等】 筆者のものの見方や考え方をとらえ、想像することや共感することをおして、自分の生き方について考えを深める。	・本文の読解 ・漢字の読み書き ・言語発表活動 ・文学国語（大修館書店） ・一人1台端末の活用	○	○	○	【知識・技能】 ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確にとらえている。 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈をふまえて、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・筆者のものの見方や考え方をとらえ、想像することや共感することをおして、自分の生き方について考えを深めようとしている。	○	○	○	12
	B 巨人の接待 【知識及び技能】 本文の構造や語彙について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・語り手の視点による人物像を読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】 筆者のものの見方や考え方をとらえ、想像することや共感することをおして、自分の生き方について考えを深める。	・本文の読解 ・漢字の読み書き ・言語発表活動 ・文学国語（大修館書店） ・一人1台端末の活用		○	○	【知識・技能】 ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確にとらえている。 ・「読むこと」において、語り手の視点や場面の設定のしかた、表現の特色について評価することをおして、内容を解釈している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・登場人物の描写や語り手の役割について考えを深め、作品を読み味わおうとしている。	○	○	○	14
	定期考査						○	○		1
	C 山月記 【知識及び技能】 本文の構造や語彙について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・李徴の心情や境遇を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 筆者のものの見方や考え方をとらえ、想像することや共感することをおして、自分の生き方について考えを深める。	・本文の読解 ・漢字の読み書き ・言語発表活動 ・文学国語（大修館書店） ・一人1台端末の活用	○	○		【知識・技能】 ・文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。 ・文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確にとらえている。 ・「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえるとともに、作品が成立した背景やほかの作品などとの関係をふまえ、作品の解釈を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・文体の特徴や語りの構造に興味をもち、登場人物の心情や境遇をふまえて、作品を読み味わおうとしている。	○	○	○	26
	定期考査						○	○		1

